

[←コンピュータリテラシー演習へ](#)

Emacsの主要操作(早見表)

ohmi@rsch.tuis.ac.jp

表の見方

C-x はControlキー(Ctrlと書いてある)を押しながらxを打つことを意味する。同様に**C-a** はControlキーを押しながらaを打つ。

M-x はESCキーを打って離してからxを打つことを意味する。同様に**M-v** はESCを打って離してからvを打つ。

なぜM-x?

MはMetaを意味する。Emacsが登場した1970年代, Lispマシンと呼ばれるコンピュータのキーボードにはMetaキーが付いており, Controlキーと同様 M-xなどはMetaキーを押しながらxを打つことで入力していた。現代のほとんどキーボードには, Metaキーがなく, ESCキーを押してから次のキーを打つという方法で代用している。現代のEmacs使いには, Altキーや◇キーをMetaキーとして代用する者もいるようである。

Emacsの起動と終了

ktermなどから

```
% emacs &
```

で, Emacsが新たなウィンドウとして起動する。

```
% emacs -nw
```

とすれば, ktermなどコマンドを打ち込んだ端末エミュレータの中でEmacsが起動する。

Emacsを終了するには, Emacs上で**C-x C-c**と打つ。

カーソル移動

カーソルキーを打っても移動できるが, 以下の**C-p, C-n, C-b, C-f**を使うのが正統である。

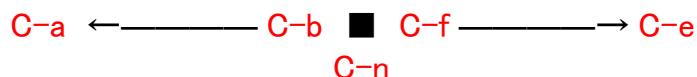
キー	動作内容
C-p	カーソルを上に移動(previous)
C-n	カーソルを下に移動(next)
C-b	カーソルを左に移動(back)
C-f	カーソルを右に移動(forward)
C-a	カーソルを行頭に移動
C-e	カーソルを行末に移動

図で表すと以下のようなになる(■が現在のカーソル位置)。

行頭

C-p

行末



また、カーソルを大幅に移動する以下のコマンドがある。

キー	動作内容
M-v	1ページ前に移動
C-v	1ページ先に移動
M-<	バッファの先頭に移動
M->	バッファの末尾に移動

ファイル操作

キー	動作内容
C-x C-f	ファイルを開く(find file)
C-x C-s	バッファの内容をファイルに保存(save file)
C-x C-w	バッファの内容をファイル名を指定して保存(write file)
C-x i	バッファにファイルの内容を挿入(insert file)

編集操作

SPCはスペースキー, BSはBackspaceキーを意味する。

キー	動作内容
BS	カーソルの左にある文字を削除
C-d	カーソル位置にある文字を削除
C-k	カーソル位置から行末までを削除
C- C-x u	元に戻る(Undo)
C-SPC	現在のカーソル位置をマーク(mark)
C-w	マークした位置から現在のカーソル位置までを切り取り
M-w	マークした位置から現在のカーソル位置までをコピー
C-y	貼り付け

バッファ操作

キー	動作内容
C-x k	現在のバッファを閉じる(kill buffer)
C-x C-b	バッファの一覧を表示
C-x b	表示するバッファを切り替える
C-x 2	表示するバッファを2つに分割する
C-x 1	表示するバッファを1つにする

日本語入力

キー	動作内容
----	------

C-¥	モード切り替え 直接入力⇔ローマ字入力
SPC	変換
Enter	確定
C-o	文節を広げる
C-i	文節を狭める

困った時は…

まず, C-g を押してみる. コマンドの途中の段階でも中断して, 通常の状態に戻る.

C-x help または C-h でヘルプが出てくる. Emacsの詳しいマニュアルは, M-x info で出てくる.

← [コンピュータリテラシー演習](#)へ

ohmi@rsch.tuis.ac.jp